（第二版）（明治一年五月九日第三種郵便物認可）　臺灣日日新報　昭和十五年三月十七日（日曜日）　第一万四千三百七十一號　（一）

臺灣日日新報（夕刊）　三月十六日　夕刊定價一部二錢

發行所　臺北市榮町四丁目廿四番地　佐々木　肇
臺北市西門町一丁目七番地　臺日新報社
臺北市西門町一丁目七番地　臺日新報社
臺中市西門町一丁目一番地　臺中支局
臺南市南門町二丁目一番地　臺南支局
花蓮港街入船町　花蓮港支局
大阪市西區阿波座堀通一丁目（ユタカビルヂング內）　大阪支局
東京市京橋區銀座三丁目一番地　東京支局

豪雨と惡路を冒して 敵を包圍しつつ進擊

南寧方面の戰況

【南寧十五日發同盟】綏南公路東側地區の戰況を期して行動を起したわが部隊は十四日夜來豪雨と惡路の困難を克服し左の如し

一、○○、○○の諸隊は十四日夜○○附近の陣地に據る敵約七百を殲滅して○○に進擊中、この戰闘に依る敵遺棄死體約二三○、輕機、小銃その他多數を鹵獲

一、最左翼の○○の各部隊は敵の抵抗を排して十四日夜半西山附近の○○陣地を占領、○○河を渡河進擊中

一、○○、○○の各部隊は南寧方約五十粁附近の敵約五百を殲滅、猛雨を冒して○○方面に進擊中、敵遺棄死體約二百

一、○○、○○の各部隊は十四日夜來小雨冒、奇襲坪、大塘嶺東方山地帶の敵を殲滅、殘敵の各個と戰闘中である

一、○○、○○の諸隊は敵陣東北方二十五粁附近にある有力陣地の偵察する約五百の敵前衛隊を二殲し、敵主力の退路を遮斷すべく十三日行動を起したわが部隊は十四日夜來豪雨と惡路の困難を克服し左の如し

一、○○、○○の諸隊は十四日夜○○附近の陣地に據る敵約七百を殲滅して○○に進擊中、この戰闘に依る敵遺棄死體約二三○、輕機、小銃その他多數を鹵獲

一、最左翼の○○の各部隊は敵の抵抗を排して十四日夜半西山附近の○○陣地を占領、○○河を渡河進擊中

一、○○、○○の各部隊は南寧方約五十粁附近の敵約五百を殲滅、猛雨を冒して○○方面に進擊中、敵遺棄死體約二百

一、○○、○○の各部隊は十四日夜來小雨冒、奇襲坪、大塘嶺東方山地帶の敵を殲滅、殘敵の各個と戰闘中

御追慕の涙も新たに
嚴かに執り行はせらる
故竹田宮大妃殿下の御喪儀

【東京十六日發同盟】竹田宮大妃殿下をはじめ故人と縁故深き内親王殿下、朝香宮妃殿下、東久邇宮妃殿下、北白川宮妃殿下、賀陽宮妃殿下、久邇宮妃殿下、梨本宮妃殿下、閑院宮妃殿下、伏見宮妃殿下、李王妃殿下、李王妃殿下、李鍝妃殿下、李玖殿下、李方子妃殿下、李王職長官、侍従武官長、侍従長、宮内大臣、内大臣、内閣総理大臣、陸軍大臣、海軍大臣、枢密院議長、貴族院議長、衆議院議長、各国大使、各国公使等奉迎裡に御霊柩、御使丁に各御供、御喪主の宮、各皇族方はじめ御供奉員御霊柩に供奉、佐々木司儀長、故竹田宮御殿では午前七時御霊主

御霊柩は午前九時御殿を御発引、近衛騎兵隊、儀仗隊、御霊柩車、御喪主の御乗車、侍従武官長、侍従長、侍従、侍医、女官、内親王殿下、同妃殿下、内親王殿下、同妃殿下、内親王殿下、同妃殿下

臺北高等學校 尋常科の入試問題

筆答試問（第二十分）

一、我が國の獨立の世界に比類のないところを説明しなさい

二、國民に對してはどんなかけが必要ですか

三、帝國の國民としてあなた達の心得べきことを述べなさい

國語（第一日）（六十分）

一、左ノ漢字ニ假名ヲツケヨ

（例）假名（カナ）　漢字（モジ）

朝鮮國　柳約　振鈴

柳取刀　隅衆　執着

陽炎　蓋體　開墾

二、左ノコトヲ昆ヒラガナ書漢字、漢字ニツヅケ書セヨ

○例　たやすい（容易）

イ、草木の生ひしげること（　）

ロ、世の人がまだ知らないものを見出すこと（　）

ハ、手をつけ始めること（　）

ニ、食などをつつのあつめること（　）

ホ、牛馬などをなだらかにすること（　）

三、左ノ言葉ハ、ドンナ有様ヲ言ヒアラハスカノ語ニテアルカ

○例　草木の生ひしげること

イ、風雨の烈シキ

ロ、涙の絶ヘ間ナキ

ハ、我を忘レタル

ニ、足が痛ニなる

ホ、足ノ丈ヲ一日間ニ二十里モ歩ク

四、左ノ文ヲ一口調ニ書キナホセ（ダシ一ノ所ニテ息ヲ切ルコト）

昔承四年十月ニ二十日、源頼朝平家ノ軍ヲ富士川ニ破リ、二十一日、兵ヲ率ヒテ鎌倉ニ帰ル。

國史（六十分）

一、聖徳太子について次の問に答へなさい。

イ、外交上の御方針

ロ、御方針を如何に遂行されましたか。

ハ、外國の文明に對しては、如何なるお考へをもつて居られましたか。

ニ、此のお考へを如何に實行されましたか。

二、聖徳太子について次の問に答へなさい。

イ、如何なる考へから實現に反對しましたか。

ロ、蘇我氏が如何なる目的で滅ぼしましたか

	よみかた	如何なる目的であらはしましたか
神皇正統記		
海國兵談		
山陵志		

三、次の事物について答へなさい

イ、天智天皇ノ御時、大友皇子ト皇位ヲ爭ヒテ戰ヒ、敗レテ自殺セラレ給ヒシ皇子ノ御名

ロ、天武天皇ノ御時、二ノ王等ノ時代ノ尊い物語ヲ始メ、神武天皇ヤ日本武尊ノ御事蹟、其ノ他古事記ノ中ノ出來事ヲ記シタ書物ノ名

ハ、天智天皇ノ御時、大友皇子ト皇位ヲ爭ヒテ戰ヒ、敗レテ自殺セラレ給ヒシ皇子ノ御名

ニ、古事記ハ、ドンナ文字デ、ドンナ順ニ書イテアルカ。

ホ、古事記ハ、ドンナ事ガ書イテアルカ。

ヘ、古事記ハ、ドンナ文字デ、ドンナ順ニ書イテアルカ。

ト、古事記ニハナゼ大切カ。

國語（第二日）（六十分）

一、左ノ文章ノ（　）ノ中ヘ、後ニ書キナラベテアル言葉ノ中カラ適當ト思フモノヲエランデ書キ入レヨ。【ヒント】ノ中ハ一字ヅヽ書クコト。

甲、帝國陸軍將校諸君に（　）ず後に山を負ひ、前に敵野なだを望み、（　）して敵かられど、くまなくはき清められて、いと綺麗し。戰場の右手に、戰百年を經たりと思はる櫛の老木あり、枝葉茂をおほひて、（　）の如し。

乙、夏休に（　）した繪を調べようと思つて、様と一しよに、上野のお山の博物館へ行つたら（　）圓を見ると、動物の剥製室は一階になつてゐる。階段には、標識のたくさん（　）してある間を通つて、すぐ二階へ上る。珍しい動物の（　）がいばいならんでゐる。

丙、（　）圓を見ると、動物の剥製室は一階になつてゐる。階段には、標識のたくさん（　）してある間を通つて、すぐ二階へ上る。珍しい動物の（　）がいばいならんでゐる。

丁、（　）圓を見ると、動物の剥製室は一階になつてゐる。階段には、標識のたくさん（　）してある間を通つて、すぐ二階へ上る。珍しい動物の（　）がいばいならんでゐる。

【語群】　海軍兵號　山陵志　神皇正統記

二、次ノ國ニ答ヘヨ。

イ、國境丸ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ロ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ハ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ニ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ホ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヘ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ト、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

チ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

リ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヌ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ル、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヲ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ワ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

カ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヨ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

タ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

レ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ソ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ツ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ネ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ナ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ラ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ム、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ウ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ノ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

オ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ク、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヤ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

マ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ケ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

フ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

コ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

エ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

テ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ア、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

サ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

キ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ユ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

メ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ミ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

シ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヒ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

モ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

セ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ス、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ン、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

算術（第一日）

（1）次ノ計算ヲセヨ

イ、$2\frac{7}{12}-\left(\frac{3}{8}+\frac{1}{6}\right)\times 2\frac{4}{13}+1\frac{5}{9}\times\frac{3}{7}+2\frac{1}{6}$

ロ、$\left\{0.125\times\frac{1}{7}\div\frac{1}{4}:4\frac{2}{3}\right\}=\square:3=0.7$

ハ、$\left\{\frac{1}{3}\div\frac{0.8}{0.8}\right\}$

（2）一個デ4錢ノ鉛筆ヘル米ガ1個2分値下ガサレタラナラバ1圓デ何枝ヘルカ

（3）池ノ周リヲ一周スルニ甲ハ4分乙ハ5分カカル。今甲ト乙ト對向時ニ池ノ端ノ或地點ヲ出發シテ反對ノ向キニ池ヲマハリ始メテ出合ヲタノハ出發シテカラ何分後カ。又第二回目ニ出合ヲタ所ガ出發點カラ60m離レテ居ルトキハ池ノ周リハ何米アルカ

（4）甲數ト乙數トノ比ヘ5：4。乙數ト丙數トノ比ヘ3：2デ甲數ハ丙數ヨリ63多イ。乙數ハ丙數ヨリ何程多イカ

（5）太郎ヘ1圓50錢、次郎ヘ70錢持ツテ居テ同ジ本ヲ買ヲタ。此ノ時次郎ハ太郎ニ50錢デ金ヲ返シタ。ソシテ其ノ時ノ次郎ノ所持金ハ太郎ノ所持金ノ二倍デアヲタト云フ。兩人ハイクラノ本ヲ買ヲタノカ

算術（第二日）

（1）圓デ作ヲタ四角形ノ器ガアル。內法ノ直徑14cm、深サ12cmノ器ニ水ヲ一杯入レタナラバ全體ノ目カラ何程ト入ルカ。御ノ比重ヘ8.9トスル。（答ヘ瓦マデ出セ）

（2）八人ノ一家族ガバスニノリ乘車券ヲ一緒ニ買ヘウトシテ拍錢ノオ金ヲ五個出シタ。トコロガ車掌ヘ4錢不足ダツトイツタ見レバ5個ノ中ニ五錢ノオ金ガ1個交ヲ居タ。ソコデ又4錢拂ヲテ乘車券8枚ヲ受取ヲタ。此ノ家族ハ大人何人子供何人カ乘車券ヘ大人ノガ8錢子供ノガ5錢デアル

（3）正比例ノ問題ト反比例ノ問題トヲ各二題ヅツ作レ（問題ヲ作ルダケデ答ヘ出サナイデヨイ）

正比例（1）（2）

反比例（1）（2）

（4）或人ガ三分五厘利附國債額面100円ノモノヲ98円デ15枚ト、配當5分ノ株券額面50円ノモノヲ65円デ30枚トヲ買ヲタ。利廻ハ全體デ何分何厘ニナルカ

（5）縦1尺3寸、横9寸ノ紙ヲ何枚カツギ合セテ正方形ヲ作ラウト思フ。一番小サイモノデ紙何枚イルカ。又此ノ正方形ノ面積ハイクラカ。ツギ目ハ皆2分トスル

春日うらら（四）

春日のどかやぬくうらゝかに
そこでお幸に
釣りたらつゞる

二、次ノ國ニ答ヘヨ。

イ、國境丸ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ロ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ハ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ニ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ホ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヘ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ト、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

チ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

リ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヌ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ル、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヲ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ワ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

カ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヨ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

タ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

レ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ソ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ツ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ネ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ナ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ラ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ム、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ウ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ノ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

オ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ク、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヤ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

マ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ケ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

フ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

コ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

エ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

テ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ア、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

サ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

キ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ユ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

メ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ミ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

シ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ヒ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

モ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

セ、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ス、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

ン、國境丸ノ速力ハ從來ノ最大ノ艦ニ比ベテ何ンナ點ガ違ツテヰルカ。

子供の食事

五十回噛んで食べさせよ

□□□□□

子供の食事にも作法があつて、ただ食べさえすればよいといふわけのものではありません。多數の小学生の食事をよくみてゐると無暗に早く食べてしまふ子供があるのですが、これは家庭でよく注意して矯正してほしいと思ひます。よくかみしめて食べる習慣をつけてほしいのですが、それがためには二十回位噛んで食べる習慣をつけるといいのですから、決して急いで食べないやうに注意することの時間が二十分位かゝるのですが

この位時間をかけて食べると食物の味もよくわかり、消化もよく、その上少食でも栄養になるので、時間の節約にもなるのです。一般にあまり食事の時間が長過ぎるやうですと、よく噛んで食べれば、自然食物に對する感謝の氣持も起り、食物を粗末にしない氣持をもつやうになります。

これは小さい時分からの習慣が大切で、一回一回で出來ませんから、そのつもりで親御が一緒に食事をして手本を示してもらへば、すぐに習慣になります。それを「早く食べなさい、何をグズグズして食べてゐるんだ」といつて叱つたり、「ボヤボヤするな」といつて急かせたりすると、子供は食事に對して恐怖心を抱くやうになつて、折角の食事も美味しくなくなつてしまひます。

三月定期種痘

本年二月の定期種痘を疾病その他の事故により受けなかつたものの為に同年度中に次の如く三月定期種痘を實施することになつた。尚當日は注意事項參照の上漏れなく施行を受けるやう希望してゐる

施行月日	施行區域	施行場所	所管內町
三月八日（月曜）	第一區	北門小學校	新起町、川端町、南門町、新起町、松山町、東門町、下奈良町、太平町、三丁目、太平町、五丁目、太平町、六丁目、太平町、七丁目、太平町、八丁目、太平町、九丁目、太平町、十丁目、太平町、十一丁目、太平町、十二丁目、太平町、十三丁目、太平町、十四丁目、太平町、十五丁目、太平町、十六丁目、太平町、十七丁目、太平町、十八丁目、太平町、十九丁目、太平町、二十丁目、太平町、二十一丁目、太平町、二十二丁目、太平町、二十三丁目、太平町、二十四丁目、太平町、二十五丁目、太平町、二十六丁目、太平町、二十七丁目、太平町、二十八丁目、太平町、二十九丁目、太平町、三十丁目、太平町、三十一丁目、太平町、三十二丁目、太平町、三十三丁目、太平町、三十四丁目、太平町、三十五丁目、太平町、三十六丁目、太平町、三十七丁目、太平町、三十八丁目、太平町、三十九丁目、太平町、四十丁目、太平町、四十一丁目、太平町、四十二丁目、太平町、四十三丁目、太平町、四十四丁目、太平町、四十五丁目、太平町、四十六丁目、太平町、四十七丁目、太平町、四十八丁目、太平町、四十九丁目、太平町、五十丁目、太平町、五十一丁目、太平町、五十二丁目、太平町、五十三丁目、太平町、五十四丁目、太平町、五十五丁目、太平町、五十六丁目、太平町、五十七丁目、太平町、五十八丁目、太平町、五十九丁目、太平町、六十丁目、太平町、六十一丁目、太平町、六十二丁目、太平町、六十三丁目、太平町、六十四丁目、太平町、六十五丁目、太平町、六十六丁目、太平町、六十七丁目、太平町、六十八丁目、太平町、六十九丁目、太平町、七十丁目、太平町、七十一丁目、太平町、七十二丁目、太平町、七十三丁目、太平町、七十四丁目、太平町、七十五丁目、太平町、七十六丁目、太平町、七十七丁目、太平町、七十八丁目、太平町、七十九丁目、太平町、八十丁目、太平町、八十一丁目、太平町、八十二丁目、太平町、八十三丁目、太平町、八十四丁目、太平町、八十五丁目、太平町、八十六丁目、太平町、八十七丁目、太平町、八十八丁目、太平町、八十九丁目、太平町、九十丁目、太平町、九十一丁目、太平町、九十二丁目、太平町、九十三丁目、太平町、九十四丁目、太平町、九十五丁目、太平町、九十六丁目、太平町、九十七丁目、太平町、九十八丁目、太平町、九十九丁目、太平町、百丁目、太平町、百一丁目、太平町、百二丁目、太平町、百三丁目、太平町、百四丁目、太平町、百五丁目、太平町、百六丁目、太平町、百七丁目、太平町、百八丁目、太平町、百九丁目、太平町、百十丁目、太平町、百十一丁目、太平町、百十二丁目、太平町、百十三丁目、太平町、百十四丁目、太平町、百十五丁目、太平町、百十六丁目、太平町、百十七丁目、太平町、百十八丁目、太平町、百十九丁目、太平町、百二十丁目、太平町、百二十一丁目、太平町、百二十二丁目、太平町、百二十三丁目、太平町、百二十四丁目、太平町、百二十五丁目、太平町、百二十六丁目、太平町、百二十七丁目、太平町、百二十八丁目、太平町、百二十九丁目、太平町、百三十丁目、太平町、百三十一丁目、太平町、百三十二丁目、太平町、百三十三丁目、太平町、百三十四丁目、太平町、百三十五丁目、太平町、百三十六丁目、太平町、百三十七丁目、太平町、百三十八丁目、太平町、百三十九丁目、太平町、百四十丁目、太平町、百四十一丁目、太平町、百四十二丁目、太平町、百四十三丁目、太平町、百四十四丁目、太平町、百四十五丁目、太平町、百四十六丁目、太平町、百四十七丁目、太平町、百四十八丁目、太平町、百四十九丁目、太平町、百五十丁目、太平町、百五十一丁目、太平町、百五十二丁目、太平町、百五十三丁目、太平町、百五十四丁目、太平町、百五十五丁目、太平町、百五十六丁目、太平町、百五十七丁目、太平町、百五十八丁目、太平町、百五十九丁目、太平町、百六十丁目、太平町、百六十一丁目、太平町、百六十二丁目、太平町、百六十三丁目、太平町、百六十四丁目、太平町、百六十五丁目、太平町、百六十六丁目、太平町、百六十七丁目、太平町、百六十八丁目、太平町、百六十九丁目、太平町、百七十丁目、太平町、百七十一丁目、太平町、百七十二丁目、太平町、百七十三丁目、太平町、百七十四丁目、太平町、百七十五丁目、太平町、百七十六丁目、太平町、百七十七丁目、太平町、百七十八丁目、太平町、百七十九丁目、太平町、百八十丁目、太平町、百八十一丁目、太平町、百八十二丁目、太平町、百八十三丁目、太平町、百八十四丁目、太平町、百八十五丁目、太平町、百八十六丁目、太平町、百八十七丁目、太平町、百八十八丁目、太平町、百八十九丁目、太平町、百九十丁目、太平町、百九十一丁目、太平町、百九十二丁目、太平町、百九十三丁目、太平町、百九十四丁目、太平町、百九十五丁目、太平町、百九十六丁目、太平町、百九十七丁目、太平町、百九十八丁目、太平町、百九十九丁目、太平町、二百丁目、太平町、二百一丁目、太平町、二百二丁目、太平町、二百三丁目、太平町、二百四丁目、太平町、二百五丁目、太平町、二百六丁目、太平町、二百七丁目、太平町、二百八丁目、太平町、二百九丁目、太平町、二百十丁目、太平町、二百十一丁目、太平町、二百十二丁目、太平町、二百十三丁目、太平町、二百十四丁目、太平町、二百十五丁目、太平町、二百十六丁目、太平町、二百十七丁目、太平町、二百十八丁目、太平町、二百十九丁目、太平町、二百二十丁目、太平町、二百二十一丁目、太平町、二百二十二丁目、太平町、二百二十三丁目、太平町、二百二十四丁目、太平町、二百二十五丁目、太平町、二百二十六丁目、太平町、二百二十七丁目、太平町、二百二十八丁目、太平町、二百二十九丁目、太平町、二百三十丁目、太平町、二百三十一丁目、太平町、二百三十二丁目、太平町、二百三十三丁目、太平町、二百三十四丁目、太平町、二百三十五丁目、太平町、二百三十六丁目、太平町、二百三十七丁目、太平町、二百三十八丁目、太平町、二百三十九丁目、太平町、二百四十丁目、太平町、二百四十一丁目、太平町、二百四十二丁目、太平町、二百四十三丁目、太平町、二百四十四丁目、太平町、二百四十五丁目、太平町、二百四十六丁目、太平町、二百四十七丁目、太平町、二百四十八丁目、太平町、二百四十九丁目、太平町、二百五十丁目、太平町、二百五十一丁目、太平町、二百五十二丁目、太平町、二百五十三丁目、太平町、二百五十四丁目、太平町、二百五十五丁目、太平町、二百五十六丁目、太平町、二百五十七丁目、太平町、二百五十八丁目、太平町、二百五十九丁目、太平町、二百六十丁目、太平町、二百六十一丁目、太平町、二百六十二丁目、太平町、二百六十三丁目、太平町、二百六十四丁目、太平町、二百六十五丁目、太平町、二百六十六丁目、太平町、二百六十七丁目、太平町、二百六十八丁目、太平町、二百六十九丁目、太平町、二百七十丁目、太平町、二百七十一丁目、太平町、二百七十二丁目、太平町、二百七十三丁目、太平町、二百七十四丁目、太平町、二百七十五丁目、太平町、二百七十六丁目、太平町、二百七十七丁目、太平町、二百七十八丁目、太平町、二百七十九丁目、太平町、二百八十丁目、太平町、二百八十一丁目、太平町、二百八十二丁目、太平町、二百八十三丁目、太平町、二百八十四丁目、太平町、二百八十五丁目、太平町、二百八十六丁目、太平町、二百八十七丁目、太平町、二百八十八丁目、太平町、二百八十九丁目、太平町、二百九十丁目、太平町、二百九十一丁目、太平町、二百九十二丁目、太平町、二百九十三丁目、太平町、二百九十四丁目、太平町、二百九十五丁目、太平町、二百九十六丁目、太平町、二百九十七丁目、太平町、二百九十八丁目、太平町、二百九十九丁目、太平町、三百丁目、太平町、三百一丁目、太平町、三百二丁目、太平町、三百三丁目、太平町、三百四丁目、太平町、三百五丁目、太平町、三百六丁目、太平町、三百七丁目、太平町、三百八丁目、太平町、三百九丁目、太平町、三百十丁目、太平町、三百十一丁目、太平町、三百十二丁目、太平町、三百十三丁目、太平町、三百十四丁目、太平町、三百十五丁目、太平町、三百十六丁目、太平町、三百十七丁目、太平町、三百十八丁目、太平町、三百十九丁目、太平町、三百二十丁目、太平町、三百二十一丁目、太平町、三百二十二丁目、太平町、三百二十三丁目、太平町、三百二十四丁目、太平町、三百二十五丁目、太平町、三百二十六丁目、太平町、三百二十七丁目、太平町、三百二十八丁目、太平町、三百二十九丁目、太平町、三百三十丁目、太平町、三百三十一丁目、太平町、三百三十二丁目、太平町、三百三十三丁目、太平町、三百三十四丁目、太平町、三百三十五丁目、太平町、三百三十六丁目、太平町、三百三十七丁目、太平町、三百三十八丁目、太平町、三百三十九丁目、太平町、三百四十丁目、太平町、三百四十一丁目、太平町、三百四十二丁目、太平町、三百四十三丁目、太平町、三百四十四丁目、太平町、三百四十五丁目、太平町、三百四十六丁目、太平町、三百四十七丁目、太平町、三百四十八丁目、太平町、三百四十九丁目、太平町、三百五十丁目、太平町、三百五十一丁目、太平町、三百五十二丁目、太平町、三百五十三丁目、太平町、三百五十四丁目、太平町、三百五十五丁目、太平町、三百五十六丁目、太平町、三百五十七丁目、太平町、三百五十八丁目、太平町、三百五十九丁目、太平町、三百六十丁目、太平町、三百六十一丁目、太平町、三百六十二丁目、太平町、三百六十三丁目、太平町、三百六十四丁目、太平町、三百六十五丁目、太平町、三百六十六丁目、太平町、三百六十七丁目、太平町、三百六十八丁目、太平町、三百六十九丁目、太平町、三百七十丁目、太平町、三百七十一丁目、太平町、三百七十二丁目、太平町、三百七十三丁目、太平町、三百七十四丁目、太平町、三百七十五丁目、太平町、三百七十六丁目、太平町、三百七十七丁目、太平町、三百七十八丁目、太平町、三百七十九丁目、太平町、三百八十丁目、太平町、三百八十一丁目、太平町、三百八十二丁目、太平町、三百八十三丁目、太平町、三百八十四丁目、太平町、三百八十五丁目、太平町、三百八十六丁目、太平町、三百八十七丁目、太平町、三百八十八丁目、太平町、三百八十九丁目、太平町、三百九十丁目、太平町、三百九十一丁目、太平町、三百九十二丁目、太平町、三百九十三丁目、太平町、三百九十四丁目、太平町、三百九十五丁目、太平町、三百九十六丁目、太平町、三百九十七丁目、太平町、三百九十八丁目、太平町、三百九十九丁目、太平町、四百丁目、太平町、四百一丁目、太平町、四百二丁目、太平町、四百三丁目、太平町、四百四丁目、太平町、四百五丁目、太平町、四百六丁目、太平町、四百七丁目、太平町、四百八丁目、太平町、四百九丁目、太平町、四百十丁目、太平町、四百十一丁目、太平町、四百十二丁目、太平町、四百十三丁目、太平町、四百十四丁目、太平町、四百十五丁目、太平町、四百十六丁目、太平町、四百十七丁目、太平町、四百十八丁目、太平町、四百十九丁目、太平町、四百二十丁目、太平町、四百二十一丁目、太平町、四百二十二丁目、太平町、四百二十三丁目、太平町、四百二十四丁目、太平町、四百二十五丁目、太平町、四百二十六丁目、太平町、四百二十七丁目、太平町、四百二十八丁目、太平町、四百二十九丁目、太平町、四百三十丁目、太平町、四百三十一丁目、太平町、四百三十二丁目、太平町、四百三十三丁目、太平町、四百三十四丁目、太平町、四百三十五丁目、太平町、四百三十六丁目、太平町、四百三十七丁目、太平町、四百三十八丁目、太平町、四百三十九丁目、太平町、四百四十丁目、太平町、四百四十一丁目、太平町、四百四十二丁目、太平町、四百四十三丁目、太平町、四百四十四丁目、太平町、四百四十五丁目、太平町、四百四十六丁目、太平町、四百四十七丁目、太平町、四百四十八丁目、太平町、四百四十九丁目、太平町、四百五十丁目、太平町、四百五十一丁目、太平町、四百五十二丁目、太平町、四百五十三丁目、太平町、四百五十四丁目、太平町、四百五十五丁目、太平町、四百五十六丁目、太平町、四百五十七丁目、太平町、四百五十八丁目、太平町、四百五十九丁目、太平町、四百六十丁目、太平町、四百六十一丁目、太平町、四百六十二丁目、太平町、四百六十三丁目、太平町、四百六十四丁目、太平町、四百六十五丁目、太平町、四百六十六丁目、太平町、四百六十七丁目、太平町、四百六十八丁目、太平町、四百六十九丁目、太平町、四百七十丁目、太平町、四百七十一丁目、太平町、四百七十二丁目、太平町、四百七十三丁目、太平町、四百七十四丁目、太平町、四百七十五丁目、太平町、四百七十六丁目、太平町、四百七十七丁目、太平町、四百七十八丁目、太平町、四百七十九丁目、太平町、四百八十丁目、太平町、四百八十一丁目、太平町、四百八十二丁目、太平町、四百八十三丁目、太平町、四百八十四丁目、太平町、四百八十五丁目、太平町、四百八十六丁目、太平町、四百八十七丁目、太平町、四百八十八丁目、太平町、四百八十九丁目、太平町、四百九十丁目、太平町、四百九十一丁目、太平町、四百九十二丁目、太平町、四百九十三丁目、太平町、四百九十四丁目、太平町、四百九十五丁目、太平町、四百九十六丁目、太平町、四百九十七丁目、太平町、四百九十八丁目、太平町、四百九十九丁目、太平町、五百丁目、太平町、五百一丁目、太平町、五百二丁目、太平町、五百三丁目、太平町、五百四丁目、太平町、五百五丁目、太平町、五百六丁目、太平町、五百七丁目、太平町、五百八丁目、太平町、五百九丁目、太平町、五百十丁目、太平町、五百十一丁目、太平町、五百十二丁目、太平町、五百十三丁目、太平町、五百十四丁目、太平町、五百十五丁目、太平町、五百十六丁目、太平町、五百十七丁目、太平町、五百十八丁目、太平町、五百十九丁目、太平町、五百二十丁目、太平町、五百二十一丁目、太平町、五百二十二丁目、太平町、五百二十三丁目、太平町、五百二十四丁目、太平町、五百二十五丁目、太平町、五百二十六丁目、太平町、五百二十七丁目、太平町、五百二十八丁目、太平町、五百二十九丁目、太平町、五百三十丁目、太平町、五百三十一丁目、太平町、五百三十二丁目、太平町、五百三十三丁目、太平町、五百三十四丁目、太平町、五百三十五丁目、太平町、五百三十六丁目、太平町、五百三十七丁目、太平町、五百三十八丁目、太平町、五百三十九丁目、太平町、五百四十丁目、太平町、五百四十一丁目、太平町、五百四十二丁目、太平町、五百四十三丁目、太平町、五百四十四丁目、太平町、五百四十五丁目、太平町、五百四十六丁目、太平町、五百四十七丁目、太平町、五百四十八丁目、太平町、五百四十九丁目、太平町、五百五十丁目、太平町、五百五十一丁目、太平町、五百五十二丁目、太平町、五百五十三丁目、太平町、五百五十四丁目、太平町、五百五十五丁目、太平町、五百五十六丁目、太平町、五百五十七丁目、太平町、五百五十八丁目、太平町、五百五十九丁目、太平町、五百六十丁目、太平町、五百六十一丁目、太平町、五百六十二丁目、太平町、五百六十三丁目、太平町、五百六十四丁目、太平町、五百六十五丁目、太平町、五百六十六丁目、太平町、五百六十七丁目、太平町、五百六十八丁目、太平町、五百六十九丁目、太平町、五百七十丁目、太平町、五百七十一丁目、太平町、五百七十二丁目、太平町、五百七十三丁目、太

馬に乘る猿

(103)

石川達三作

伊東顯畫

颱風（二）

卿太郎はてあや平敬を遊ばせして、竹下酬平はいまや陸光宇と成博卿子とを併せんとしてゐる。ここに彼を相當の事業家として認識させうる機會にたしかなものとなつた以上は、十二年つちかつて來た總ての關係を必ずしも清算する必要がなくなつて來たそこへもつて來て原平爲松はふみ子夫人の妹みさほとの縁談がもつれて來たのに氣をくさらし、社長に後事を囑きつけて退社してしまつた。

――筆鋒轉ず――

私儀今般退社するところあり、社長竹下酬平氏の人格について信頼をもつこと能はず、徒らにその支配下に在つて屈辱を忍むにしのびざるをもつてここに辭任候條……

酬平はうるさい人間がひとり始末したことにむしろほツとしてゐた。しかし彼のつまづきは實にこの時から發展しなくてはならぬものであつた。原平爲松の退社は竹下酬平自身の重大な試練を與へたものであることにみづから感心することを忘つてゐたために、同いで第二第三の波瀾が來ることになつた。

酬平の妻子との合併に反對してゐた千鶴子夫人と、令嬢みさほは、社長と合併に止めをくらかして飛出したが、これまた竹下社長の眼のまへに辭表をさし出して歸つてしまつた。たらちも、太陽光宇工場に重役が止つたのである。酬平は非常事態を乘り越すために專務取締役を置くことにし、卿太郎、卿見工場長をともに專務に任命した。

卿見は、社長と工場にかゝる氣持はなくなつてゐた。卿見の人格に信頼してゐた工場の職工たちは、向ふ三日間のサービスにはいり、卿見が復歸しない限りそれはさらに延長されるといふ始末になつた。

かういふ狀態になつて來ると、酬平にとつて現代人間ほど彼に不向きな人間はなかつた。目的的な氣持から、彼は久山直三にむかつて總務の部屋を貸すことを申出た。その翌日、總務部員一同は辭表を提出して退社した。社内

十四日に特許事務にエヂソンのキネトスコープ開始二年後には西洋畫と眼鏡と商人とに拒まれ、正に瀕死の狀態にあつたといふのキネトスコープは、すでに世界の中から忘れられてゐるが、これは今日のキネマの親だからやうよう述べておく必要がある

エヂソンのキネトスコープは非常に早く發明で一秒間に四十八コマの寫眞として、ただ機關關間と四十八回フイルムの下部に活動寫眞を見せるために一秒間に四十八コマの寫眞を連續的に裸眼を以て見せるだけのものであつた。これにただ一人づつしか見られないものであつた。シカゴに開かれた世界大博覽會では非常に好評を博したものである。この一人しか見られないといふことでは仕方がない。何とかして大勢の人々に見せるやうにしなければならぬ。エヂソンのキネトスコープは現在の映畫の發明に絶つて大きな關係を持つてゐるが、その後トーマス・アルマートといふ發明家の青年と相知るやうになり、それの金錢的助力の下に改良を企て一八九七年の夏、アトランタの木綿製品博覽會會場に於て公開した。

この博覽會開催に起つた次次の為に新機の發表に間つてしまつた。そして二人は分れ分れとなつたのである。その後一八九九年十二月十八日發行のフランクリン學院（フランクリンインスティチュート）にゼンキンス發明のファンタスコープの製作過程や學理などが詳細な圖解をもつて掲げられ、その後機械を新たにして、アトランティック・シティーの公會堂に於て映畫として一般通用となつてしまつたが、

映畫の科學と史篇 (5)

天空にゑがく 春の姿をたづねて

春の月

春は吾等の關關を包む。そして自然界と人生の接觸が、いろいろの點で褒められて行く春の夜の月のうちにもかくましおもふひとに告げ得たるのちには、さうたひびとが詠んだものであるだけに春は月こそ美しい秋の月のやうにくらべれば、春のは朧のやうにほのかんすんで、まことに頼りないといふ人もあるが、そのかすんだ中に何ともいへぬ趣があり、春の朧月はこゝからである

春の星

さてその月にくらべて、春の星はまことに淋しい天上の花にたとへられる星々の美はこの春の夜には地上の花に劣くそその美を損はれた形である。そして冬の間に冴え渡つてゐた遠近感を思ひ出に殘すばかりである。ここから春霞笑の歌聞として、冬やうに洗れてゐる五分、加藤五段は三七目と上つた。筆かに飛車を開拓して、敵が放出して逃げは五六歩と突いて、五筋の攻を遮断しようと云ふ遠謀である。この時かなうざる敵角の動きに平野六段は暫らく小息を入れてゐたが、やがて八角と駒音高く飛び出した。これ迄かゝる知れない此と平野六段は云ふ。しかし敵の五六歩突きを防ぐ手法の一手だ。駒組み七十分間後は急激に發展して行く。加藤君は何處に攻めを見出さうとするのであらう

木村名人講評

先手二六歩より三七角の進出まで無難乍ら後手六六歩打を假想とたのは、この場を乘氣に進んだ指方である。筆手二三歩は早計の感なきを得ず、ここは五三歩としても四四歩から四三金の變化を見せるさいもの以外の意味はなかつた目的的な氣持から、彼は久山直三にむかつて總務の部屋を貸すことを申出た。その翌日、總務部員一同は辭表を提出して退社した。社内

本社主催

將棋高段者對抗戰

▲六五同歩（六五分）▲同　飛（一一分）▲七七銀（三分）△同　銀（一一分）▲一六歩（三分）△一四歩（一分）▲八九玉（六分）△三二銀（二分）▲三七銀（五分）△八四角（六分）

加藤氏四回勝五回目

▲持時間各九時間　▲二三銀（一〇分）　▲三筋歩（二分）

加藤治郎　段五▲先　平野信助　八六段　平手合割

（第十四局ノ五）（圖は六五形迄の局面）

後手（持駒）歩

角行の動き

八段　坂口允彦

問題の平野六段の六五歩にかう▲と疑問をつけて置いたが、平野氏はどう指したらよからうか

▲五三銀、七七銀、八四角、八五玉、三三銀、二六角、五三銀、三七桂、八一飛

こんな具合で、六筋の攻を狙ふのが主眼であらうと思はれる。加藤五段の方としては單に角取り込まれないので、又何なしに同歩と取る。同銀のると、六六歩と打つか、いや〳〵それでは歩も築つ無もない。七七銀と手順に攻めて、且六六歩打と行く、ソッのない手順である。一歩を手に入れて目的を達した上は、長筋には無用と平野六段は五四歩と前上げる。此處で加藤五段の手はだひとつ。

――二十七分――

▲六六歩と突き出した。加藤五段は驚愕に云ふ。

「六歩は六六歩と今度突けないない。一六歩と突いて置けば彼に二六角と出た時、活用が廣いと思つた

平野六段はノータイム四歩と受ける。三筋の歩を詰められては大きい。銀は中段に入つて突き、角氏の設は筆間に變つと驚かされた。

やうに洗れてゐる。五分、加藤五段は三七角と上つた。筆かに飛車を開拓して、敵が放出して逃げは五六歩と突いて、五筋の攻を遮断しようと云ふ遠謀である。この時かなうざる敵角の動きに平野六段は暫らく小息を入れてゐたが、やがて八角と駒音高く飛び出した。これ迄かゝる知れない此と平野六段は云ふ。しかし敵の五六歩突きを防ぐ手法の一手だ。駒組み七十分間後は急激に發展して行く。加藤君は何處に攻めを見出さうとするのであらう

木村名人講評

先手二六歩より三七角の進出まで無難乍ら後手六六歩打を假想とたのは、この場を乘氣に進んだ指方である。筆手二三歩は早計の感なきを得ず、ここは五三歩としても四四歩から四三金の變化を見せるさいもの以外の意味はなかつた目的的な氣持から、彼は久山直三にむかつて總務の部屋を貸すことを申出た。その翌日、總務部員一同は辭表を提出して退社した。社内

▲五三銀　七七銀　八四角　八五玉　三三銀　二六角　五三銀　三七桂　一六飛

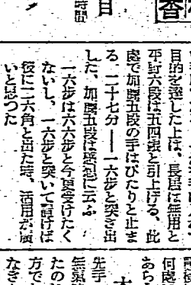
こんな具合で、六筋の攻を狙ふのが主眼であらうと思はれる。加藤五段の方としては單に角取り込まれないので、又何なしに同歩と取る。同銀のると、六六歩と打つか、いや〳〵それでは歩も築つ無もない。七七銀と手順に攻めて、且六六歩打と行く、ソッのない手順である。一歩を手に入れて目的を達した上は、長筋には無用と平野六段は五四歩と前上げる。此處で加藤五段の手はだひとつ。

――二十七分――

▲六六歩と突き出した。加藤五段は驚愕に云ふ。

「六歩は六六歩と今度突けないない。一六歩と突いて置けば彼に二六角と出た時、活用が廣いと思つた

平野六段はノータイム四歩と受ける。三筋の歩を詰められては大きい。銀は中段に入つて突き、角氏の設は筆間に變つと驚かされた。



商況（十六日）

東京銀行會社

日金二一三四　同　新四三一二三
日鐵　三六六五　同　新四二一二
日石　九七一一　同　新三一一二
日曹　一一〇〇　同　新一三五二
日電　四〇七〇　同　新一三五五
日製　九一〇〇　同　新三一一二
日本　一〇三〇　同　新三一一二
日立　一〇三〇　同　新三一一二
日窒　一〇三〇　同　新三一一二
日鋼　一〇三〇　同　新三一一二
日石　一〇三〇　同　新三一一二
日曹　一〇三〇　同　新三一一二
日電　一〇三〇　同　新三一一二
日製　一〇三〇　同　新三一一二
日本　一〇三〇　同　新三一一二
日立　一〇三〇　同　新三一一二
日窒　一〇三〇　同　新三一一二
日鋼　一〇三〇　同　新三一一二
日石　一〇三〇　同　新三一一二
日曹　一〇三〇　同　新三一一二
日電　一〇三〇　同　新三一一二
日製　一〇三〇　同　新三一一二
日本　一〇三〇　同　新三一一二
日立　一〇三〇　同　新三一一二
日窒　一〇三〇　同　新三一一二
日鋼　一〇三〇　同　新三一一二

東京國債前場

引　一〇三・七〇　一〇三・六五　一〇三・七〇　二〇

東京短期前場

引　一〇三・七〇　一〇三・六五　一〇三・七〇　二〇

東京短取組合

東新　一三二　一三一　一三二　一三一
大新　一三二　一三一　一三二　一三一
日鐵　一三二　一三一　一三二　一三一
日石　一三二　一三一　一三二　一三一
日曹　一三二　一三一　一三二　一三一
日電　一三二　一三一　一三二　一三一
日製　一三二　一三一　一三二　一三一
日本　一三二　一三一　一三二　一三一
日立　一三二　一三一　一三二　一三一
日窒　一三二　一三一　一三二　一三一
日鋼　一三二　一三一　一三二　一三一
日石　一三二　一三一　一三二　一三一
日曹　一三二　一三一　一三二　一三一
日電　一三二　一三一　一三二　一三一
日製　一三二　一三一　一三二　一三一
日本　一三二　一三一　一三二　一三一
日立　一三二　一三一　一三二　一三一
日窒　一三二　一三一　一三二　一三一
日鋼　一三二　一三一　一三二　一三一

東京短期前場

引　一〇三・七〇　一〇三・六五　一〇三・七〇　二〇

東京國債前場

引　一〇三・七〇　一〇三・六五　一〇三・七〇　二〇

東京銀行會社

東新　一三二　一三一　一三二　一三一
大新　一三二　一三一　一三二　一三一
日鐵　一三二　一三一　一三二　一三一
日石　一三二　一三一　一三二　一三一
日曹　一三二　一三一　一三二　一三一
日電　一三二　一三一　一三二　一三一
日製　一三二　一三一　一三二　一三一
日本　一三二　一三一　一三二　一三一
日立　一三二　一三一　一三二　一三一
日窒　一三二　一三一　一三二　一三一
日鋼　一三二　一三一　一三二　一三一
日石　一三二　一三一　一三二　一三一
日曹　一三二　一三一　一三二　一三一
日電　一三二　一三一　一三二　一三一
日製　一三二　一三一　一三二　一三一
日本　一三二　一三一　一三二　一三一
日立　一三二　一三一　一三二　一三一
日窒　一三二　一三一　一三二　一三一
日鋼　一三二　一三一　一三二　一三一

大阪棉花前場

引　七九・五〇　七九・三五　七九・五〇　一〇〇

大阪長期前場

引　七九・五〇　七九・三五　七九・五〇　一〇〇

横濱生絲前場

引　一六二・九〇　一六二・七〇　一六二・九〇　一〇〇

銀塊

倫敦現物　二〇片一六分一五
先物　片一六分一五

棉花

紐育現物　一〇仙三九
紐育前日比較　一仙三分二九
紐育前日比較　一仙三分二九
紐育前日比較　一仙三分二九

砂糖

爪哇現物　一仙三五
紐育前日比較　一仙三分二九
紐育前日比較　一仙三分二九
紐育前日比較　一仙三分二九

爲替

米対英　六弗四四七五
米対英　六弗四四七五
米対英　六弗四四七五
米対英　六弗四四七五

神戸爲替

対米（一弗）　四一円一銭
対英（一磅）　一三円一六分七
対独（一馬克）　一円一六分七
対仏（一佛郎）　一円一六分七

金塊

倫敦現物　三四弗一〇仙
紐育現物　三五弗一〇仙
紐育前日比較　一仙三分二九
紐育前日比較　一仙三分二九

正金建値

対米（一弗）　一三円一六分七
対英（一磅）　一三円一六分七
対独（一馬克）　一円一六分七
対仏（一佛郎）　一円一六分七

東京長期前場

引　一〇二・七〇　一〇二・六五　一〇二・七〇　二〇

東京長期總取組

引　一〇二・七〇　一〇二・六五　一〇二・七〇　二〇

大阪短期前場

引　一〇二・七〇　一〇二・六五　一〇二・七〇　二〇

大阪棉花前場

引　七九・五〇　七九・三五　七九・五〇　一〇〇

大阪長期前場

引　七九・五〇　七九・三五　七九・五〇　一〇〇

横濱生絲前場

引　一六二・九〇　一六二・七〇　一六二・九〇　一〇〇

銀塊

倫敦現物　二〇片一六分一五
先物　片一六分一五

棉花

紐育現物　一〇仙三九
紐育前日比較　一仙三分二九
紐育前日比較　一仙三分二九
紐育前日比較　一仙三分二九

砂糖

爪哇現物　一仙三五
紐育前日比較　一仙三分二九
紐育前日比較　一仙三分二九
紐育前日比較　一仙三分二九

爲替

米対英　六弗四四七五
米対英　六弗四四七五
米対英　六弗四四七五
米対英　六弗四四七五

神戸爲替

対米（一弗）　四一円一銭
対英（一磅）　一三円一六分七
対独（一馬克）　一円一六分七
対仏（一佛郎）　一円一六分七

金塊

倫敦現物　三四弗一〇仙
紐育現物　三五弗一〇仙
紐育前日比較　一仙三分二九
紐育前日比較　一仙三分二九

正金建値

対米（一弗）　一三円一六分七
対英（一磅）　一三円一六分七
対独（一馬克）　一円一六分七
対仏（一佛郎）　一円一六分七

臺灣單獨工業

本社並に中間試驗工場は新竹に

資本金十九万四千圓全額拂込濟で設立計畫中の臺灣單獨工業試驗社は十五日新竹で創立委員會を開き役員選任の上、本社及び工場は新竹に置く事に決定した。

夕刊經濟欄

全島的に降雨し 日月潭再び增水

去十日の狀態に歸る

去十日頃後の降雨で日月潭貯水池は增水し大發電所、小粗坑、山共他の水力も出力增加し發電は一時發電の恐ひをしたのであつたが十一日以後久もや降天打續き過日五日二千一個まで增加した日月潭の流水量は十五日に至り二百十個まで低下し發電量減退をして本月上旬の過水再來を期待したのであるが、同日に至り中支那と臺灣北部にあつた北五八銭の小低氣壓が東に移動し新も九州から支那を經て佛印に至る不連續線が發生した二万シベリヤ方面にあつた七六銭の高氣壓が南東に移動した後の本島一般に晴朗をもたらし日月潭の狀態は去十日頃と同程度に達し十六日朝は流水量二百二十個を數に午後は曇に五日頃に達した模樣である。一方天逸晴、小粗坑亀山の水力も去十日頃と同程度に達し發電をして發電量を增加しての

海外映畫短信

ワーナー・ナチ・スパイの告白

ファイン・アート「伯林の諜報」

ソフトラー」等アメリカの反獨映畫は續々アメリカのみならず世界各地で勃興センセーションを巻き起したが更にメトロではフランボザージ監督ジェームス・テュワート、マーガレット・サラヴァン、フランク・モルガン、ロバート・ヤング主演でフイリス・ボールドヂケ映畫「死の脚」を製作するが、これは獨逸の大諜報網の暗躍を描いたもので、ナチスに追放された人々の悲しき生活を映畫に依つて描くといふ、製作はシドニイ・フランクリンである

ワーナーの「裏の夜の空」に出演後社員の紹介に立つてゐたジーン・ミュアはメトロに招かれ久振りで聖林に帰る事になつた復帰第一回作品はヴァージニア・ブルース共演の「二人美しい」である

(海)(外)(小)(話)

魚の腹から六千六百圓

【上海廿四日同盟】廿四日上海発の外電は奇想天外な方法を考へ出すもので極く最近も上海税關に捕つた一密輸犯人は、土産物の何かの缶詰の中に日本の円札六千六百円を隠してゐた。ところが此の魚類期でもないのに缶詰大きな腐敗してゐた。一寸缶詰期の缶詰を開けてゐるものがあつたが發覚の中に一人の釣り天狗がゐて魚類の生鮮缶に詰いところから、「これは チト怪しい」と氣がつき缶詰のお札の固まりに触つた上缶詰全部を卷いてみたところ前記の如き大金のお札の固まりに触つたので税關に捕つたが前科ものだ

講談倶樂部　四月號

講談倶樂部四月號は特大號だが中でも傑作は「忠臣蔵の華」「忠烈國の華」「忠烈國の華」「忠烈國

臺灣日日新報
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十五年三月十七日（日曜日）
第一万四千三百七十一號

五箇師の敵袋の鼠
目差す○○へ廿五粁

【南京十六日發同盟】敵は公館東側地區の敵に對して既述の火蓋を切つた我部は山岳地帶の複雜地形を縫つて迂回し、包圍線の右翼を擔當する○○、○○等の諸部隊は十五日夕新塘水の北に敵前渡河を敢行○○（敵殘軍北方六十粁）の敵に對しこれを包圍殲滅中○○、○○、○○の各部隊は敵の中央に對して壓迫を續け十五日夕新塘北郊附近に於ける約二千の敵を殲滅○○、○○、○○の諸部隊は所在の敵を掃蕩しつつ北進、南關附近の中心西北河岸の敵○○附近に約千の敵を擊滅○○に向進しつつある。各部隊は既に目標○○の二十五粁の線に進出包圍殲滅を期しつつあり我が飛機の偵察に依れば包圍戰内の約五箇師の敵は袋の鼠となり右往左往してゐる

暴風と泥濘冒し猛進

【南京十六日發同盟】敵殘兵團殲滅に主力を傾注した我が皖南支隊は共後續部隊と協力し十三日以來新塘及び南關を中心とする敵殘兵團の包圍殲滅に當つてゐるが、十五日夜來の暴風と泥濘を冒して敵を包圍殲滅に追込みつつあり今や壯絶なる包圍戰が展開されんとしてゐる

潮汕の蔣軍再起不能
皇軍の傘下に歸順續出

【汕頭十六日發本社支局特電】潮汕地方に潰敗を極めた蔣軍殘存兵は今や再起不能となるを見越め脫出して皇軍の傘下に投ずるもの續出してゐるが、潮汕西方に於ける敵の主力潰滅的打撃を受けた揭陽方面の殘敗は、揭陽縣城を中心に約二千の精鋭を擁し不逞の陰謀を企圖し、又普寧縣城に於ても約三千の精鋭を擁し、兩地共に我が皇軍の進出を阻止すべく必死の抵抗を試みつつあるが、皇軍は既に兩地の敵を包圍し、殲滅戰を展開中で、揭陽方面の敵は十五日中に、普寧方面の敵は十六日中に夫々殲滅し得る見込である

十五日までの戰況
（支那派遣軍報道部發表）

【南京十五日發同盟】十五日までの二週間に於ける皇軍の作戰は進捗し、人員、軍器の損害は敵の方が遙かに多く、我軍は之に對して機動的戰術を發揮し、優勢なる敵の包圍攻撃を破碎して敵の我に有利なる作戰を封じ、又各地に於ける敵の殘存抗日勢力の掃蕩に拍車を加へつつあるが、本週は特に南支に於ける敵の最後の拠點たる廣東、汕頭、海南島の三作戰に戰略的觀點を重點し、又各地に於ける

社說

新記錄十五年度豫算の成立
實行には細心對處の要あり

一

昭和十五年度一般會計豫算案、臨時軍事費特別會計豫算案、臨時軍事費特別會計豫算案を國債一般ニ關スル法律案、臨時軍事費ニ關スル法律案、臨時軍事費ニ充ツル爲ノ公債發行ニ關スル法律案、臨時軍事費ニ充ツル爲ノ特別稅ニ關スル法律案、臨時軍事費ニ充ツル爲ノ國有財産特別處分

新物價統制機構と今後の動向（下）

東京　北村三一郎

經濟時評

低物價政策を堅持するのに吝べからざる政府は政治力でなる、阿部内閣は低物價政策を堅持する建前の下に新角「九・一八」物價停止を斷行し一切の暴騰を抑止めようと試みたにも拘らず、米配給の杜絶から續出來價の五大綱領に反發を感じ、米、價格の暴上げで、つまづき、阿部内閣の瓦解となり、米内内閣の登場となつたのだつた、佐藤商相は物價統制令の中樞機關として現在の中央物價委員會を改組し商工省における物價局及び物價課を設け、物價、物資統制について強力な統制を實施しようといふ狙ひをもつてゐるが、池田藏相は從來内閣、併も阿部内閣當時の藏相の重要な地位にあつた關係上、阿部内閣と米内内閣との間に介在して兩内閣の調整に當つたのだつた、佐藤商相は強力池田會計を斷行して物價政策の確立を期し、政府は中央物價委員會を改組し、

牡丹崩れず

（五十七）

紅白の花（23）

竹田敏彦 作
岩田專太郎 畫

葵は、何か話そうとしたが、そこへ女中が現れて、
「お召しでございますか」
夫人が訊ねた。
「牧山さんに、お電話を呼び出して頂戴。何卒でございましたかね」
夫人が訊ねたが、葵には、
「いや、僕がかけませう……」
と、立つた。
「ほつほ、他聞を憚りますの？」
また、京都子が冷かした。葵には、まつさきからの、人から冷評にした態度や、かうした京都子どうになつて、自分を持つけるやうな、この世子の振り方が何だか不快と感じてゐるので
「なんて、さうですよ……昨日の縁倉の日ですよ。とて、電話ですから、御勇のため聞きにらうしやいな、はつはは」
反射的に笑ひ声を立て、部屋を出ていつた。そこに残つた京都子へ立つと右肩の部位でゐる銀座を降びる葵の後ろ姿を、ちらと見送つた京都子は、有樹の「お嬢さん」振りを、ちらと見送つた京都子は、有樹の「お嬢さん」振りを、へらへらと笑つてゐる銀座の二階に座ぶらせてゐる銀座の二階に座ぶらせてゐる銀座の二階に座ぶらせ

蕃人は治水を阻害

日當りのよい南側は農耕で荒廃

濁水溪の探査で判明

【台中電話】現在濁水の治水は台南、州北下にまたがる最大な治水問題で上流で最大な施設を持つものである、之が治水研究の為台中州内務部、伊知地、岩本兩技手外一名の調査員は三月一日入山、翌二日その案内にて濁水上流にある蕃人の部落中の頭目大湖、阮大錦、阮大錦の案内なく隨意入山する事は絶對に出來ない、然し蕃人の火入を絶對に禁じなければぬが之は理蕃當局の力に俟つ外なく治水單獨では不可能である

【台中電話】一昨二日午前十時半頃台中州内務部長、伊知地、岩本兩技手、林地課長、太場屬技手外一名の調査隊は三月一日入山、翌二日その案内にて濁水上流にある蕃人の部落中の頭目大湖、阮大錦、阮大錦の案内なく隨意入山する事は絶對に出來ない、然し蕃人の火入を絶對に禁じなければぬが之は理蕃當局の力に俟つ外なく治水單獨では不可能である、之が治水研究の為台中州内務部

支那謀略秘帖

遊士三寸の舌に斂弄さる

（上）

安藤德器

先づ戰勢の行動から述べよう。

彼は雒邑（今の洛陽）の人であつて、鬼谷先生に習ひ、出游すること數年であつたが、志を得ずして歸り、兄弟・妻妾等に輕んぜられ有無であつた。そこで彼はこれを憤じ、一世に勝る縱つて工夫をこらした結果、一の戰略を得、然る後始めて再び遊說に出で、先づ周の顯王（西紀前三六八年―即三二一年）に說いたが容れられず、ようで西に往いて秦の惠王に見えて縱橫の術を說いたのであつた。

彼は王に說いて言ふ、

秦は四塞の國で四方に山・河・關あるを以てであつて、山を絡り河水を帶び、東に關・河・函谷關・西河）有り、西に隴中（陝西省西部地方）有り、北に代・馬山（內蒙古地方）有り、南に巴・蜀・漢中（今の四川省）有り、沃野千里、南に巴・蜀・漢中（今の四川省

故竹田宮大妃殿下の御靈前に額づく白衣勇士
御仁慈を御追慕申上ぐ

【東京十六日發同盟】御病床より御歸京遊ばされた故竹田宮大妃殿下の御靈柩は十六日朝、かねて御指定の御邸に御安置申上げられたが、故内親王には今暴風雨に際しては内地を始め台灣、朝鮮、樺太、關東州、滿洲國等各地から御歸還になつた白衣勇士の中から代表として左の十名が御靈前に參拜を許され一同は故人の御仁德を御追慕申上げた、なほ午前十時半から午後四時半まで一般の御參拜があつた

陸軍病院に白衣の勇士を御慰問せられた御上產の菓子を前に記念撮影

【東京十六日發同盟】病床より今度は御歸還兵の慰問にと、張り切つて大奮發、さきに拜謁を賜つた勇士の代表松山長政上等兵は、竹田宮殿下の御名代として、昨年一月河南省の戰線で負傷、御歸還後は陸軍病院に入院中の同僚を慰問せられた御上產の菓子を前に記念撮影に應じ、後ち御靈前に參拜した、此の時山口長政上等兵は今度は内地を始め台灣、朝鮮、滿洲國等各地から御歸還になつた白衣勇士の代表として、此の内の御山口長政上等兵は今度は内地を始め台灣、朝鮮、滿洲國等各地から御歸還になつた白衣勇士の代表として、此の内の御山口長政上等兵は今度は内地を始め台灣、朝鮮、滿洲國等各地から御歸還になつた白衣勇士の代表として、此の内の御

日赤看護婦で服裝中一番も高級の御殿に召され故内親王に謁を賜はり御親の御言葉を拜した上、人形や御菓子等その都度賜つた勇士を御歸還記念品御總所で左の如く讓

あをも〝〝〝〝歸還兵だ〟〟〟〟
村に歸つて銃後の奉公

【東京十六日發同盟】現今、支那事變に際會して、從來から頼んだ軍隊數箇月の訓練を經て、或は數箇年の實戰に參加した勇士達が續々と歸還して來るが、千里の海路と戰場の中を共に苦戰奮鬪した戰友諸君の中には、未だ内地の病院と戰場間往復の中途に、或は戰場の露と消えた戰友の數も少なくない、生殘つた勇士達は、これら戰友の分まで、銃後の國民の爲に盡さねばならぬと、それぞれ決心を固めて歸還の途に就いたが、その中に軍來前七年も自宅に歸つた復員が出來ると共に、それ以來實に主人の歸るのを、今か〳〵と待ち侘びて居た家族の喜びは、又格別なものがあつた、此の程、東京を始め、横濱、千葉、山梨、神奈川の各府縣から續々と歸還した勇士達は、それぞれ故郷の村に歸つて行つたが、其の中、東京府下第十師團の管區内に屬する、東京府北多摩郡小金井村出身の勇士、陸軍歩兵中佐以下六十名が、村民の熱烈な歡迎を受けて歸還した、此の勇士達は、村當局の斡旋で、村内の各方面に、それぞれ就職することになつたが、此の程、村當局では、此の勇士達を、村の公會堂に招待して、村長から、一人一人に對して、村の公會堂に招待して、村長から、一人一人に對して、村の公會堂に招待して、村長から、一人一人に對して、

業組合にコンビとなつて力強いスタートを切らうと云ふ、同組合の組合員十名の一部には、村當局の出來る限りなら永い間國境で苦勞を共にした戰友と再び銃後の國防公をしたいとの希望があつた、此の熱望を聞き及んだ同組合長は、東京を始め橫濱、千葉、山梨、神奈川の各府縣下第十師團の管區内に屬する、東京府北多摩郡小金井村出身の勇士達が、それぞれ故郷の村に歸つて行つたが、其の中

聯盟の提案を承認

採みに採んだリーグ戰問題

機構改革案一先づ解決

【東京十六日發本社特電】荒木文相提唱の一本槍國民野球採みに採んだリーグ戰問題と機構改革だけは一先づ決定した、文部省では去る四日東京大學野球聯盟から提出された意見を參酌し、加盟大學の經費に對する補助を斷行した結果十五日午後五時小笠原總務局長は石渡體育課長を文部省に招き新規約を正式に發表する旨申渡した、石黒、荒木兩局から見れば何つかゞ革新リーグの新機構は從來の聯盟と殆んど變りなく發足し後はその運用にかゝつて來る、新機構は既報の如く從來の各校から部長、監督、學生の五名宛選出の三十名で出來てゐた理事會を各校部長會議に變更し、その中から互選した者一名を以て理事長とし、理事長は加盟各校が一校でも缺ける場合は缺けなかつたのを三分の二に開ける點と出席校の過半數を以て決する點になつた

從來の聯盟は參加と脫退とを問はず一校五名以内で投票を行ひ多數決して理事會の構成に當つたが、かくて學生自治の範圍は小さくされたが發展として技術、規約、記錄、審判等に參加する、會長は今後も早慶兩校が就任するものと見られ安部體育局長の談である、開戰に迫つた春のリーグ戰のスケジュールも新機構で決定されるので十六日から理事會を開催し終日協議の末に、入場料問題、野球場問題、分配の問題も教育的見地から攻めて解決して行く筈

日本が濟んだら マニラで開催か

國際庭球トーナメント

【マニラ十六日發同盟】日本が今夏加盟する東亞競技會に對し當地競技會の人氣は非常なものがあるが同大會に關して日本競技協會が來る四月三日を始め東京を中心として各國のスタープレーヤーを網羅して一大國際庭球戰を行ふ計畫說、即ち極東國際情勢を睨んでつゝこれが開催の前觸れを與へてゐるとの說のこのプランには伊太利の參加を缺く事は出來ないので伊太利當局と入國手續との關係上、今年五月下旬より六月上旬にかけて開催されるデビス杯國際庭球大會の直後に當地で開催せんとする國際招待庭球トーナメントについても期待なき旨を傳へてゐる

今秋

國際庭球戰開催か

デ盃戰の去就を待つて運動開始

伊太利からは贊意の報告

デ盃戰の去就を待つて可及的速かに運動を開催することになるが目下の處ではかなり實現すれば極東國際競技大會が十月に東京初め主要都市に於てなされるものとみられてゐる

臺南軟式野球

【臺南發電話】臺南市軟式野球協會主催第二回大會は來る廿五日午前八時より開會、杉山武太郎、三浦岡明、福山榮二、當日參加各校は市内を二組に分ち十七日より二十一日、二十二日、二十四日、二十五日の六日間に亙り進行されるが二十日は年一回の九時半各團全員

來臺の今、賴兩君

きのふ神戸出帆

【東京十六日發本社特電】台湾學生、社會人野球團、觀光の招聘で台湾に來遊中の兩團は十五日午後八時三十分東京驛發十六日神戸出帆の筈、兩團選手は十五日午後八時三十分

春季リーグ 新役員決定

關東ホツケー協會

大日本ホツケー協會關東支部役員會は十三日正午から丸の內商業會務所で開催、本年度役員改選及び春季OBリーグ戰日程について協議した結果左の如く決定した

△支部長石川關東局長△副支部長川美男△幹事三浦岡明、杉山武太郎、中里正吉、福岡榮二△會計兼庶務主任小笠原日本多摩（慶大）△委員藤山正明（明大）岡田忠彦（慶大）今田公登（早大）

【春季OBリーグ戰日程】

△四月七日　一橋競技場　聖ポ

ほまれの體力章

近く學生合格者から交付

【東京十六日發本社特電】台湾學生、社會人野球團、觀光の招聘で台湾に來遊中の兩團は十五日午後八時三十分東京驛發十六日神戸出帆の筈、兩團選手は十五日午後八時三十分

職業野球の 新登錄選手

日本野球聯盟では本年度新人選手並に移籍、復歸選手名を十四日左の如く發表した（括弧内は所屬球團）

【新人】

投手　加藤誠（一部公認野球）

捕手　井上明（慶大）

内野手　藤村富美男（名古屋）

外野手　川上哲治（同）

【移籍】

投手　若林忠志（阪急→名古屋）

内野手　白石勝巳（阪急→名古屋）

【復歸】

投手　野口二郎（名古屋→阪急）

柔道岡山郡 劍道警務部 が優勝

高雄州下對抗武道了る

川利春（明大外中最殊佐賀）

七里一（明大外中最殊佐賀）

岡田忠彦（慶大外中最殊岡山）

投手　若林忠志（阪急→名古屋）

内野手　白石勝巳（阪急→名古屋）

【新人】

投手　加藤誠（一部公認野球）

捕手　井上明（慶大）

内野手　藤村富美男（名古屋）

外野手　川上哲治（同）

【移籍】

投手　野口二郎（名古屋→阪急）

内野手　白石勝巳（阪急→名古屋）

【復歸】

投手　若林忠志（阪急→名古屋）

職業野球の第二節日程

日本野球聯盟春季リーグ戰第二節は全九チーム東京に集結して後樂園に開催するがその日程は左の如く發表された

【三日】入場式後第一ダ耳、名一ダ耳、巨人一阪急

【四日】イ一ダ耳、巨人一阪急

【五日】阪急一名屋、金鯱一ラ耳、ダ一イ耳

【六日】セ一ラ耳、南海一金鯱、イ一阪急

【七日】ラ一金鯱、名一ダ耳、巨人一南海

【八日】名一南海、ラ一イ耳、セ一ダ耳

【九日】イ一名耳、金鯱一セ耳、阪急一巨人

【一〇日】阪急一南海、ダ一阪急、セ一巨人

【一一日】ダ一ラ耳、名一セ耳、南海一巨人

東石郡に千金の雨

生物蘇生し農民歡喜

【朴子電話】未曾有の旱魃に瀕され居た當地方東石郡下の甘藷、煙草其他の農作物は昨夜に續く今朝の雨降で全く蘇生し農民達を歡喜させ、十五日午後四時過ぎに至り激しく降り出し、夜に入つて益々本降りとなり、翌十六日午前八時頃迄降り續いた雨量は實に百粍餘に達し、從來の旱魃被害地は勿論其他の地方も殆んど全部に亙つて被害を免れ、特に一面乾ききつてゐた田甫は一杯の水を湛へ、農民は今後の豐作を約束されたものとして歡喜の聲を擧げてゐる

醜い派閥爭ひ

保正親子告訴

【北斗電話】保正が某派に屬する事で告訴さるゝ一幕が北斗警察署に持ち込まれ、去る十五日午後六時頃から同署樓上で關係者六名を呼び出して取調べ中であるが、事件は北斗、沓掛兩派の派閥爭ひから起つたもので、北斗派の保正某が沓掛派の保正某を相手取つて告訴したもので、沓掛派の保正某が北斗派の某を相手取つて告訴したもので、北斗派の保正某が沓掛派の保正某を相手取つて告訴したもので、北斗派の保正某が沓掛派の保正某を相手取つて告訴したもので

高雄市と傳染病

【高雄電話】高雄市町四ノ二番地某氏方に十六日腸チフス發生決定、直に隔離病院に收容された、因に一月廿六日現在までの傳染病患者を見るに腸チフス三十名、流行二十四名で前年度同期に比し腸チフス二名、流行八名の增加を示して居る

臺日漢詩壇

魏清德

元日偶感　張木桂

欣看鳳曆又頒新。莽々乾坤尚戰塵。賀歲仍逢投刺客。在家偏憶出征人。塗豚豬米音膠黃。上下官民共勝親。普協一心動銃後。思蚩時局克艱辛。

同　惠　錦旭日裝蹤。欽遙節物新。黃鶯來報客。紫燕共迎春。酒盛三杯飲。盤遷五味陳。團圓同拜歲。感激緬皇仁。

紀元節（詩鐘得錦格）

鳳儀覺祥頒始節。龍光紀慶肇開元。擬稱五兆節。三獲可紀正予方。累述臥龍出處忠堪紀。元亮隱棄逾可風。清揚開元盛國追神武。始節與邦紀大和。王明蹟節千秋儀紀信。高勝百代憶元龍。夢梅元宵節屆燈裁錦。賀史書存竹紀年。潤庵

續快男子（9）

大島伯鶴口演
今村恒美畫

仁禮お花の再會

此方は牡江の大島郷七の家。仁禮先生が妻合つては下つたものの、果して娘おきぬが無事に歸れるかどうかと、一同心配して居りますところへ、バタ〳〵かけ込んで來た若い者が、

「旦那々々、先生がお嬢さんを連れてお歸りになりましたッ」

と注進に及んだから、

「何ッ、娘がッ……」

といふと源七は喜びのあまり飛び上つた。女房のお花も一緒に喜れいたし、

「ママ何といふ有りがたい事で」

とモウ嬉し涙がボロ〳〵ボロ〳〵流れ出して止まりません。喜七はマゴ〳〵グル〳〵立つたり坐つたり、

「オイ乃公は夢を見てゐるんやなかからな、アア有がたい。喜役權の大將、これもお聞さんのお蔭だ、オイお花、泣いてる場合やアないよ、すぐに先生をお出迎へ申せ」

「ハイ〳〵どうも濟みません、先生マア お惡いのにこんな遠くまでお迎ひに來て下さつて、どうぞこちらへ」

耶ちや、耶かなとこへ腰かけて暫く休息を願つてやりなさい」

仁禮半九郎が注意をする、初めて心づいた源七夫婦。

「ママ どうも私とした事が、嬉しの方へばかり氣をとられて、大變人の先生へ、まだ御挨拶もいたしませんで、申訳もございません」

とお花が手をついて謝を述べながら、ちつと腰だけ半九郎の顏を見て居りまする。傍から喜七が

「イヤ、お花や、どうも不思議な御緣とはこの事だらうな、今夜は先生に娘の事でこんな御厄を願いたが、すつと前にも私たちの一家が先生に助けて頂いたことがある先生に關半九郎と御しやつて、明治十年の西南戰爭の時に、これこれだつた」

と語りいたしましたところ、飛び上るばかりに驚いたお花が、

「アアそれでは矢つ張りあの時の御樣でゐらつしやいましたか、道理でお顏に見お覺えがあると思ひました。良人はかりではありません、私もあの戰爭の時に、この御樣に抱つ所を、お助け頂いた事があるのですよ」

と申しました。半九郎が、

「何ぢやと、あんたを我嬰が助けたと……」

「ハイ左樣でございます、そや古い事になりますから、お忘れかは存じませぬが、私は淺水谷の屋手に當ります大谷村の、了慶等門前に、五助といふ爺やの所で世話になつて居りましたお花でございます」

言はれて嬰を思い出した半九郎が、

「オヤさう〳〵、了慶等と言はれて思ひ出した、たしか一山とかいふ助中で農業な所主が居つたつけのう」

「ハイ左樣でございます。その子山が私に妻になれと迫り、私は五助の病氣で借りた金をとられ、切迫つまつて身を投げようとしたところを、貴方に助けて頂きましたが、又ここで嬰を殺して頂くとは二重〳〵で何といふことでございませう」

興奮してゐると嬰のおきぬが、ウーンとそれへ倒れました。

「何を言つてるんだ。乃公だよ、先生はまだ門外にゐらつしやるやないか」

「アラマアいやだ、慌てちやアいけません」

「お前が慌ててゐるんだ」

大へんな騒ぎ、そこへ醫學士乃公が入つて來る。

「おきぬや、無事だつたかえ」

と左右から喜七夫婦が取縋つて暫時は言葉もなく感泣合ひましたのは、親子の情としてもつとも千万、サア一同が、

「お嬰さまお歸りなさいまし」

「旦那樣お目出度う存じます」

「アアよかつた、安心した」

と、今までに引かへて一座に陽氣になりましたが、おきぬはまだ恐怖に脅へてゐるので、ロも利きません、

「イヤア若い嬰として感心ないウーンとそれへ倒れました。

理原の用作殺滅菌淋の線SH

杉田平十郎著　定價參拾五錢

殊に國民保健機關たる 一般臨床醫家の一讀を薦む

杉田平十郎著

電氣生理學　全一冊　定價三圓五十錢　送料十錢

高周波の生物學的研究　定價二圓五十錢　送料六錢

發行所　新科學社

【第一局ノ十二】

○六六ベ八　2　●六七ナ十7
○六八を十八段　●六わ十八1
○七〇を十四　●七二七　1
○七二ベ八　1　●七三わ七
○七四た八　●七五わ十37
○七六わ十四　●七七わ十二

時間一時間一分以内切捨
時間一時間三〇分

（第一局ノ十二）

（第一局ノ十二）

（第一局ノ十二）